

京都大学

課題

- ・若手研究者を中心とした学内教員の在外研究歴が低下
- ・既存の競争的研究費の申請支援においては、比較的短期的な成果が見込まれる研究への支援に陥りがち

課題に応じた寄付金の活用策

複数年にわたって資金活用できるという本プログラムの特性を活かし、ハイリスク・ハイリターン志向の世界的権威のある競争的研究費への応募で不採択となった研究提案から将来有望とURAが判断したものを救い上げ、フィージビリティ調査の実施や海外渡航等の実現に寄付金を活用

高エネルギー加速器研究機構

課題

ミッションや研究者の働き方において総合大学と違いがある中での課題

- ・若手研究者が個人研究に充てる時間の不足やマインドセットの修正
- ・若手研究者間の連携の強化

課題に応じた寄付金の活用策

以下を目的として、若手研究者同士が相互に申請を審査し選考、さらには、採択不採択に関わらず全員で、フォローアップ、評価を行う仕組みに寄付金を活用

- ・組織を超えた研究者間の交流や自由な議論と、それによる分野融合的研究の促進
- ・若手研究者の研究費申請能力の向上

高知大学

課題に応じた寄付金の活用策

中小規模の地方大学が抱える課題に対して、自己資金での予算確保が困難であった以下の取り組みに活用

- ・研究者同士の意見交換を促進するミーティング・シンポジウムの開催
- ・上記を通して生まれた研究テーマに対する研究費補助
- ・研究支援人材(URA等)の強化

立命館大学

課題

- ・学内外の既存の若手研究者支援プログラムにおいて、雇用保障など生活費支援の枠組みは充実し、研究に集中できる環境が整備されてきている一方、創造的・革新的研究を支える柔軟な用途の研究費の支援は手薄となりがち

課題に応じた寄付金の活用策

- ・専門研究員(ポスドク)および大学院博士後期課程学生に対する研究費助成基金を設立
- ・複数の既存の学内支援体制と連動させ、研究成果の発信を行う取組に寄付金を活用